

NIHON PARKERIZING CO.,LTD.

第133期 報告書

2017.4.1～2018.3.31



日本パーカライジング株式会社

# 株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第133期の期末報告書をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

皆様ご承知の通り、当期におけるわが国経済は、米国の政策動向など先行き不透明な状況が続きましたが、雇用環境・企業収益が改善するなど景気は、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループでは、当期を2年目とする第2次中期経営計画のもと、「あらゆる素材の表面改質分野で市場における技術的な優位性を維持し、表面改質分野におけるグローバル・リーディング・カンパニーを目指す」をスローガンに、「事業基盤の強化・拡大」、「技術立社」、「企業体質の基盤強化」を重点課題として、グループ一丸となって取り組んでまいりました。この結果、業績につきましては、後述の通りとなりました。

なお、当期の期末配当金につきましては、業績及び配当方針を勘案し、普通配当を1株につき11円とするとともに、本年が創立90周年にあたり、株主の皆様に対する感謝の意を表するため、記念配当として1株につき2円を加え、1株につき13円とさせていただきます。

当社グループを取り巻く環境は、国内の堅調な企業収益を背景に、景気は回復基調が続くものと思われませんが、地政学的リスクや通商問題等による海外経済の不確実性の高まりなど、先行き不透明な状況が続くものと思われまます。当社グループでは、創立90周年を迎える本年度を重要な年度と位置づけ、100周年に向けた更なる発展のための新たな基盤づくりを講じるとともに、グループ経営を意識した経営効率の向上と生産設備への投資及びグローバルな品質改善活動を推進し、今後とも持続可能な成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月



取締役会長

里見多一



取締役社長

佐藤乾太郎

## 1. 当社グループの概況

### (1) 事業の経過及びその成果

当期における世界経済は、米国の政策動向や東アジアの地政学的リスクの影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続きましたが、堅調な米国経済に加え、中国をはじめとするアジア経済の持ち直しにより、堅調に推移いたしました。また、国内経済は、雇用環境の改善により、個人消費が持ち直し、企業収益も改善するなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、主要取引先であります自動車業界では、国内の自動車生産は引き続き回復基調にあり、海外を含め、堅調に推移いたしました。もう一つの柱である鉄鋼業界では、需給環境等の改善を背景として、海外の鉄鋼需要は堅調に推移し、また、国内におきましても、自動車や産業機械向けなどを中心に堅調に推移いたしました。

このような状況において当社グループでは、当期を2年目とする第2次中期経営計画のもと、「あらゆる素材の表面改質の分野で市場における技術的な優位性を維持し、表面改質分野に於けるグローバル・リーディング・カンパニーを目指す」をスローガンに、「事業基盤の強化・拡大」、「技術立社」、「企業体質の基盤強化」を重点課題として、グループ一丸となって取り組んでまいりました。

この結果、当期の連結業績は次の通りとなりました。

売上高は、114,840百万円（前期比4.8%増）、営業利益は、17,984百万円（前期比6.2%増）となりました。経常利益は、20,750百万円（前期比10.5%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、12,721百万円（前期比4.0%増）となりました。

事業の種類別セグメントの概況は次の通りであります。

#### (薬品事業)

売上高は45,599百万円（前期比5.2%増）、営業利益は9,465百万円（前期比5.5%増）となりました。当事業部門は、金属などの表面に耐食性・耐摩耗性・潤滑性など機能性向上を目的とする表面改質を施し、素材の付加価値を高める薬剤などを中心に製造・販売しております。国内では当期の後半において、原材料価格高騰の影響もあり収益性が低下いたしました。タイ、インド、中国をはじめとした海外では需要が拡大し、全体として増収増益となりました。

#### (装置事業)

売上高は20,292百万円（前期比7.3%減）、営業利益は856百万円（前期比45.8%減）となりました。当事業部門は、輸送機器業界向けを中心に前処理設備・塗装設備・粉体塗装設備などを製造・販売しております。中国において自動車メーカーの設備需要が伸びましたが、国内の減収幅が大きく、全体として減収となりました。収益面でも、受注獲得のための競争が厳しさを増しており、減益となりました。

#### (加工事業)

売上高は44,536百万円（前期比10.8%増）、営業利益は8,682百万円（前期比18.4%増）となりました。当事業部門は、熱処理加工・防錆加工・めっき処理などの表面処理の加工サービスを提供しております。国内では、自動車部品における加工処理の需要回復により、熱処理加工を中心に順調に推移いたしました。海外では、タイや中国で大幅な増収となり、また、メキシコにおいても当期の後半より新工場の本格稼動が開始したことから、全体として増収増益となりました。

### (その他)

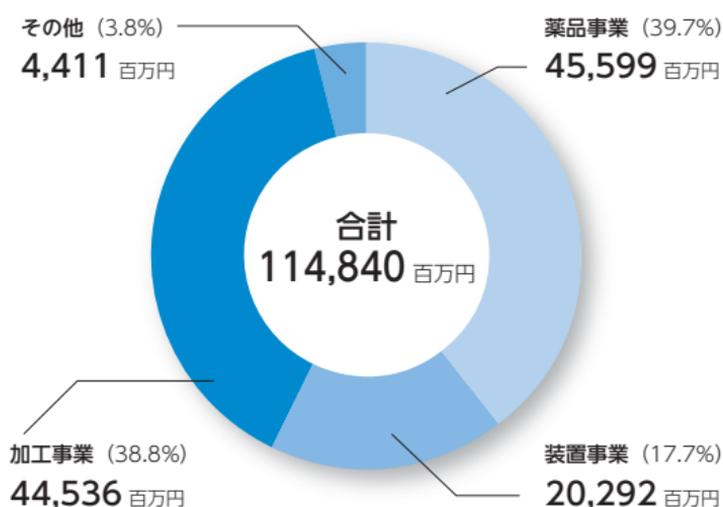
売上高は4,411百万円（前期比6.0%増）、営業利益は188百万円（前期比34.5%減）となりました。当事業部門は、ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業などを営んでおります。ビルメンテナンス事業が低調に推移しました結果、減益となりました。

### (事業種別セグメント売上高明細)

(単位：百万円)

事業の種類別セグメント	区 分	売 上 高	
		金 額	構 成 比
薬 品 事 業		45,599	39.7%
装 置 事 業		20,292	17.7%
加 工 事 業		44,536	38.8%
そ の 他		4,411	3.8%
合 計		114,840	100.0%

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



## (2) 設備投資等の状況

当期中に実施した設備投資の総額は8,668百万円であり、事業セグメント別の主なものは次の通りであります。

当期に完成した主要な設備

全社	当社	自社ビルの新設
薬品事業	大韓パーカライジング(株)	薬品製造工場の新設
薬品事業	パーカー表面処理技術(上海)	薬品製造工場の新設
加工事業	パーカーツルテック(株)	防錆及び熱処理加工工場の設備の増設

## (3) 資金調達の状況

該当事項はありません。

## (4) 対処すべき課題

当社グループといたしましては、3ヵ年の第2次中期経営計画の最終年度を迎え、あらゆる素材の表面改質の分野で市場における技術的な優位性を維持し、表面改質分野におけるグローバル・リーディング・カンパニーを目指すため、以下のことを重点課題として、持続可能な成長を目指してまいります。

### ① 事業基盤の強化・拡大

国内外グループ会社の連携を強化し、既存事業の維持・拡大を図るとともに、積極果敢にグローバルマーケットに挑戦し、新規事業の開拓や新たなビジネスモデルの創出を目指す。

### ② 技術立社

高付加価値製品の市場拡大や差別化技術の開発を進めるとともに、研究開発体制を効率化し、構築されたコア技術を基にあらゆる産業分野に貢献する。

### ③ 企業体質の基盤強化

事業全般にわたる原価低減活動によりコスト削減を推進するとともに、グローバルな品質管理体制の構築や人材育成及びコーポレートガバナンスの充実に取り組み、企業体質を強化する。

(5) 主要な事業内容

薬品事業 金属表面処理剤、防錆油、圧延油、塗料、工業用洗剤、無電解ニッケルめっき液の製造・販売他

装置事業 金属表面処理装置、塗装機器等の製造・販売他

加工事業 防錆加工、熱処理加工他

その他 建物のメンテナンス工事、金属板試験片（テストパネル）・ボルトの製造・販売他

(6) 従業員の状況

従業員数	前期末比増減
4,222名	200名

(注) 上記従業員数は就業人員であり、臨時従業員は含まれておりません。

## (7) 財産及び損益の状況の推移

### ①当社グループの財産及び損益の状況の推移

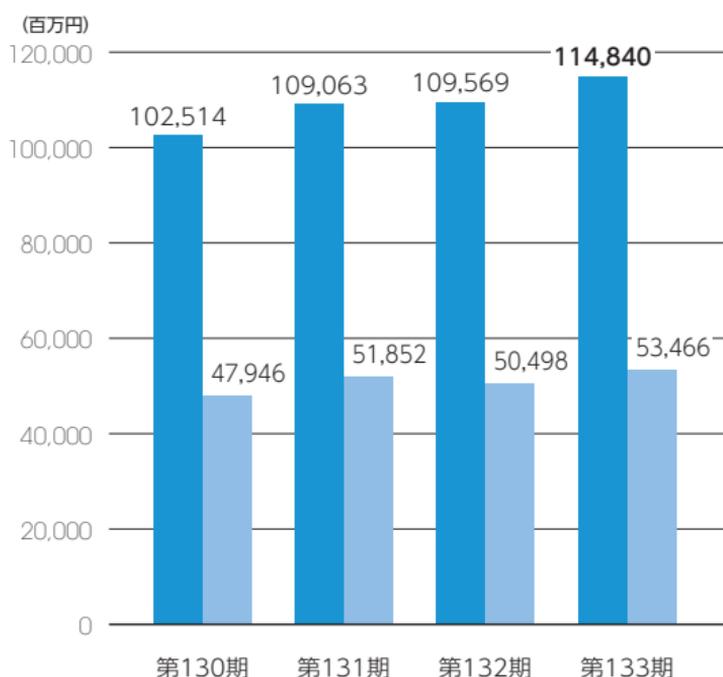
(単位：百万円)

区 分 \ 期 別	第130期 (26.4～27.3)	第131期 (27.4～28.3)	第132期 (28.4～29.3)	第133期 (29.4～30.3)
売 上 高	102,514	109,063	109,569	114,840
経 常 利 益	17,453	17,921	18,779	20,750
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	9,975	10,320	12,228	12,721
1株当たり当期純利益	(注)80円45銭	83円24銭	99円14銭	104円85銭
総 資 産 額	187,116	189,377	197,260	220,886

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 1株当たり当期純利益は、自己株式控除後の期中平均株式数に基づき算出しております。  
 3. 当社は、平成27年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。第130期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

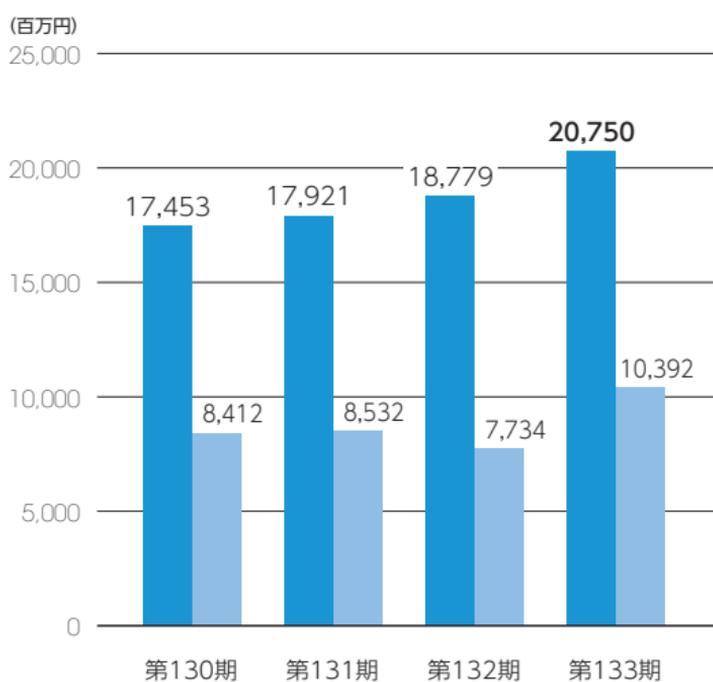
### ●売上高

■ 期末 ■ 中間



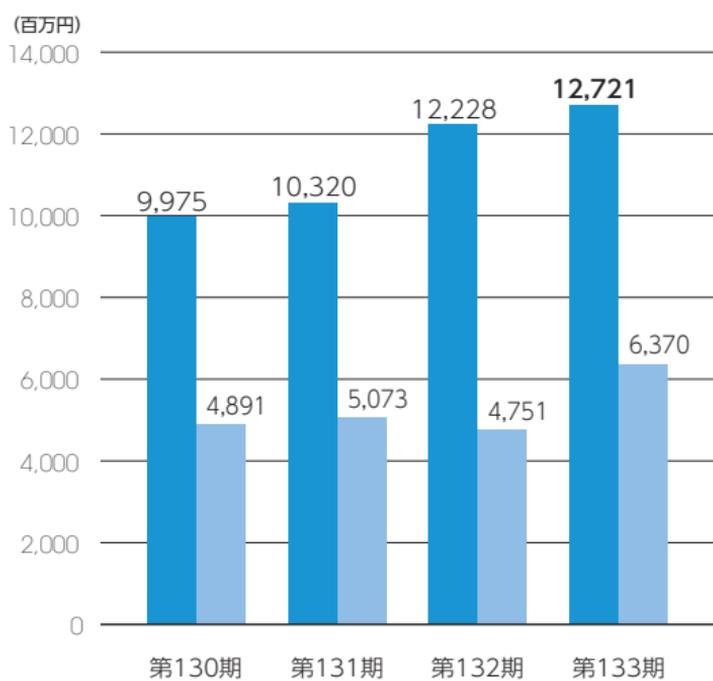
● 経常利益

■ 期末 ■ 中間



● 親会社株主に帰属する当期純利益

■ 期末 ■ 中間



## ②当社の財産及び損益の状況の推移

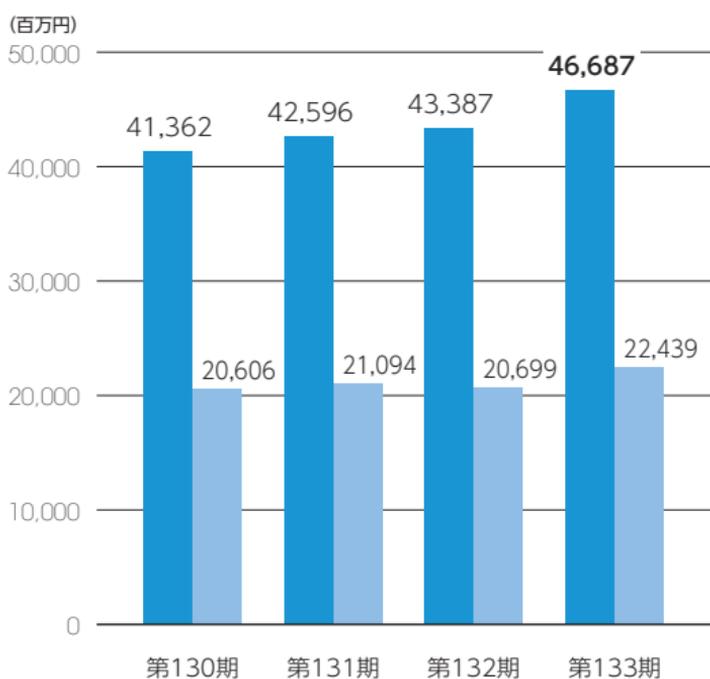
(単位：百万円)

区 分 \ 期 別	第130期 (26.4～27.3)	第131期 (27.4～28.3)	第132期 (28.4～29.3)	第133期 (29.4～30.3)
売 上 高	41,362	42,596	43,387	46,687
経 常 利 益	8,050	8,764	8,694	10,154
当 期 純 利 益	5,455	6,315	7,473	7,764
1株当たり当期純利益	(注)43円02銭	49円79銭	59円23銭	62円53銭
総 資 産 額	95,955	96,133	102,012	115,414

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 1株当たり当期純利益は、自己株式控除後の期中平均株式数に基づき算出しております。  
 3. 当社は、平成27年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株あたり純利益を算定しております。

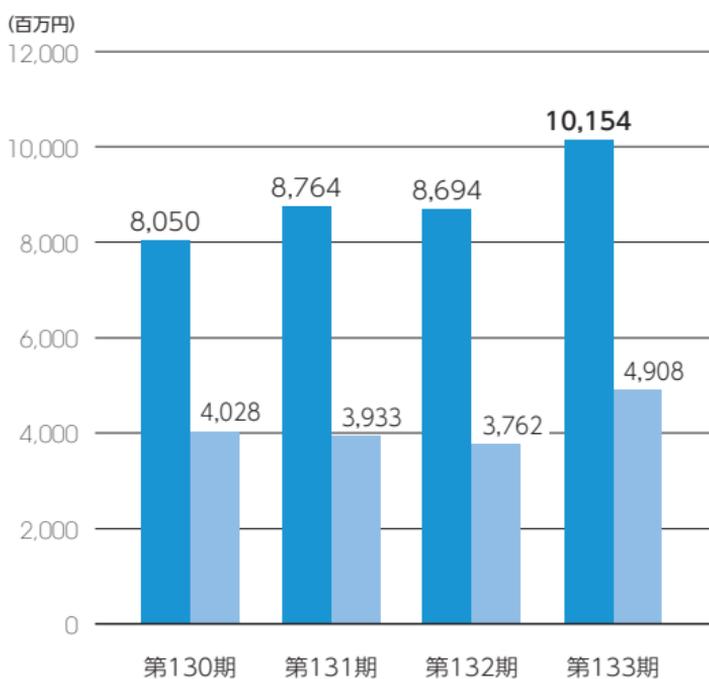
## ●売上高

■ 期末 ■ 中間



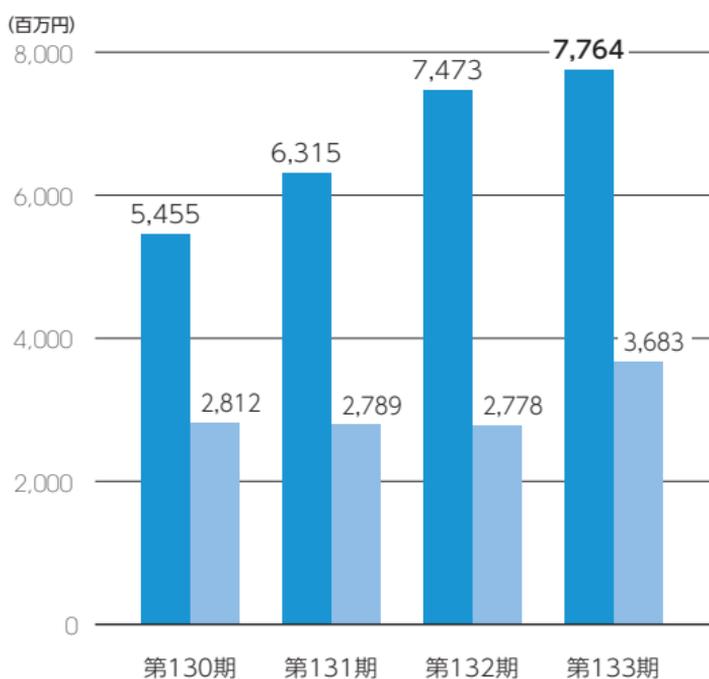
● 経常利益

■ 期末 ■ 中間



● 当期純利益

■ 期末 ■ 中間



## 2. 当社の取締役及び監査役

地 位	氏 名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役会長	里 見 多 一	最高経営責任者
代表取締役社長	佐 藤 乾 太 郎	最高執行責任者
常 務 取 締 役	里 見 康 夫	国際本部長 パーカー興産(株)代表取締役社長
常 務 取 締 役	荒 木 達 也	製品事業本部長
常 務 取 締 役	細 金 逸 人	タイパーカライジング(株)代表取締役社長
取 締 役 相 談 役	小 野 駿	
取 締 役	吉 武 教 晃	技術本部長
取 締 役	渡 邊 正 高	加工事業本部長
取 締 役	田 村 裕 保	管理本部長
取 締 役	小野岡 泰 宣	経営企画本部長
取 締 役	吉 田 昌 之	総合技術研究所長
取締役(監査等委員)	松 本 満	
取締役(監査等委員)	菅 博 敏	
取締役(監査等委員)	武 田 嘉 和	
取締役(監査等委員)	西 村 光 治	弁護士法人松尾綜合法律事務所弁護士

(注) 1. 取締役 松本 満、武田嘉和及び西村光治の各氏は、社外取締役であり、また東京証券取引所に対し、独立役員として届け出ております。

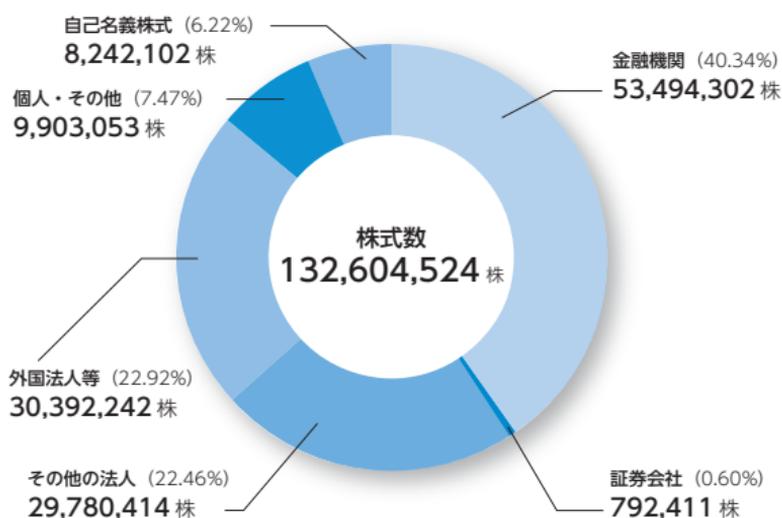
## 3. 株式の状況

(1) 発行可能株式総数	300,000,000株
(2) 発行済株式の総数	132,604,524株
(3) 当期末株主数	3,909名
(4) 大株主	

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
	千株	%
日本生命保険相互会社	7,015	5.64
明治安田生命保険相互会社	5,578	4.48
株式会社 千葉銀行	4,765	3.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,749	3.81
株式会社 雄 元	4,708	3.78
公益財団法人 里見奨学会	4,633	3.72
株式会社 みずほ銀行	4,227	3.39
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	3,823	3.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,500	2.81
株式会社 三井住友銀行	3,113	2.50

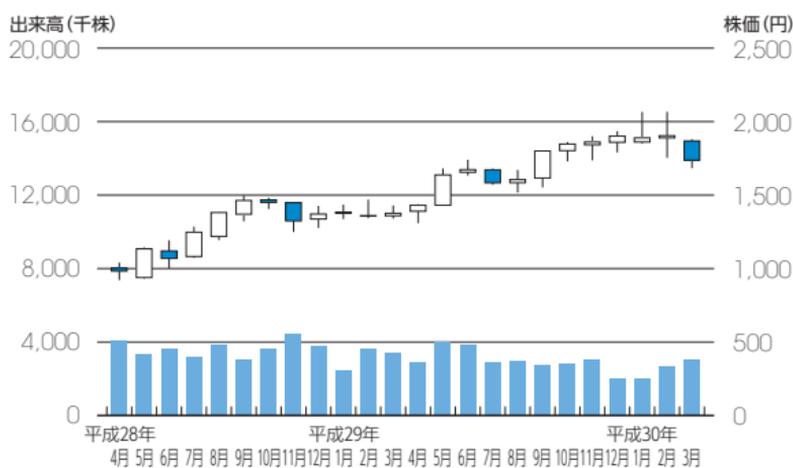
- (注) 1. 当社は、自己株式8,242千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。  
 2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。  
 3. 当社は「株式給付信託 (BBT)」を導入しており、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口) (以下「信託E口」といいます。) が当社株式189千株を取得しております。信託E口が所有する当社株式については、自己株式に含めておりません。

## (5) 所有者別分布状況



## (6) 株価の動き

(東京証券取引所における市場相場)



(注) 当社は、平成27年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

科 目	当 期 (平成30年3月31日現在)	前 期 (平成29年3月31日現在)
( 資 産 の 部 )	百万円	百万円
流 動 資 産	111,331	97,021
現金及び預金	55,673	45,400
受取手形及び売掛金	39,980	35,879
有 価 証 券	1,632	3,195
た な 卸 資 産	9,230	8,933
繰 延 税 金 資 産	1,409	1,578
そ の 他	3,572	2,189
貸 倒 引 当 金	△ 167	△ 155
固 定 資 産	109,554	100,238
有 形 固 定 資 産	59,897	55,792
建 物 及 び 構 築 物	20,443	17,559
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	16,621	16,186
土 地	16,139	15,660
建 設 仮 勘 定	4,615	4,210
そ の 他	2,077	2,176
無 形 固 定 資 産	1,390	1,186
投 資 そ の 他 の 資 産	48,265	43,260
投 資 有 価 証 券	37,397	32,586
繰 延 税 金 資 産	993	995
そ の 他	9,970	9,776
貸 倒 引 当 金	△ 96	△ 98
資 産 合 計	220,886	197,260

科 目	当 期 (平成30年3月31日現在)	前 期 (平成29年3月31日現在)
( 負 債 の 部 )	百万円	百万円
流 動 負 債	39,896	33,562
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	21,201	17,817
短 期 借 入 金	190	—
1年以内返済予定の長期借入金	1,271	831
未 払 法 人 税 等	2,474	2,965
賞 与 引 当 金	2,578	2,564
そ の 他	12,180	9,382
固 定 負 債	17,733	17,196
長 期 借 入 金	1,601	2,374
退 職 給 付 に 係 る 負 債	9,491	9,107
繰 延 税 金 負 債	5,163	3,772
そ の 他	1,476	1,941
負 債 合 計	57,630	50,758
( 純 資 産 の 部 )		
株 主 資 本	123,762	113,291
資 本 金	4,560	4,560
資 本 剰 余 金	4,286	4,070
利 益 剰 余 金	122,455	112,207
自 己 株 式	△ 7,539	△ 7,546
その他の包括利益累計額	14,589	10,006
その他有価証券評価差額金	12,943	9,439
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	3	3
為 替 換 算 調 整 勘 定	1,693	643
退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額	△ 50	△ 79
非 支 配 株 主 持 分	24,902	23,204
純 資 産 合 計	163,255	146,502
負 債 及 び 純 資 産 合 計	220,886	197,260

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結財務諸表

## 連結損益計算書

科 目	当 期	前 期
	(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
	百万円	百万円
売 上 高	114,840	109,569
売 上 原 価	71,642	68,293
売 上 総 利 益	43,197	41,275
販売費及び一般管理費	25,213	24,341
営 業 利 益	17,984	16,934
営 業 外 収 益	3,193	2,905
受 取 利 息	321	306
受 取 配 当 金	571	543
受 取 賃 貸 料	420	348
受 取 技 術 料	456	379
持分法による投資利益	1,036	819
そ の 他	386	507
営 業 外 費 用	427	1,060
支 払 利 息	64	55
為 替 差 損	20	661
そ の 他	341	343
経 常 利 益	20,750	18,779
特 別 利 益	279	1,359
特 別 損 失	289	345
税金等調整前当期純利益	20,740	19,793
法人税、住民税及び事業税	5,394	5,498
法 人 税 等 調 整 額	172	173
当 期 純 利 益	15,172	14,121
非支配株主に帰属する当期純利益	2,451	1,893
親会社株主に帰属する当期純利益	12,721	12,228

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書

当期（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

（単位：百万円）

	株 主 資 本				
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当 期 首 残 高	4,560	4,070	112,207	△ 7,546	113,291
当 期 変 動 額					
剰 余 金 の 配 当			△ 2,473		△ 2,473
親会社株主に帰属する当期純利益			12,721		12,721
自己株式の取得				△ 0	△ 0
自己株式の処分				8	8
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		216		△ 0	216
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減				△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当 期 変 動 額 合 計	—	216	10,247	7	10,471
当 期 末 残 高	4,560	4,286	122,455	△ 7,539	123,762

	その他の包括利益累計額					非 支 配 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	その 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	為 替 換 算 調 整 勘 定	退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額	その 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計		
当 期 首 残 高	9,439	3	643	△ 79	10,006	23,204	146,502
当 期 変 動 額							
剰 余 金 の 配 当							△ 2,473
親会社株主に帰属する当期純利益							12,721
自己株式の取得							△ 0
自己株式の処分							8
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							216
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減							△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	3,504	0	1,049	28	4,583	1,698	6,281
当 期 変 動 額 合 計	3,504	0	1,049	28	4,583	1,698	16,753
当 期 末 残 高	12,943	3	1,693	△ 50	14,589	24,902	163,255

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 単体財務諸表

## 貸借対照表

科 目	当 期 (平成30年3月31日現在)	前 期 (平成29年3月31日現在)
( 資 産 の 部 )	百万円	百万円
流 動 資 産	47,200	40,875
現金及び預金	22,712	17,372
受取手形及び売掛金	19,280	17,254
有 価 証 券	—	1,612
た な 卸 資 産	1,677	1,829
繰延税金資産	770	891
そ の 他	2,924	2,078
貸倒引当金	△ 165	△ 163
固 定 資 産	68,213	61,137
有 形 固 定 資 産	20,329	19,224
建物及び構築物	7,921	5,405
機械装置及び運搬具	1,890	1,811
土 地	9,112	9,117
建設仮勘定	668	2,022
そ の 他	736	867
無 形 固 定 資 産	267	104
投資その他の資産	47,616	41,808
投資有価証券	27,372	22,698
長期貸付金	2,600	2,957
そ の 他	17,725	16,235
貸倒引当金	△81	△83
資 産 合 計	115,414	102,012

科 目	当 期 (平成30年3月31日現在)	前 期 (平成29年3月31日現在)
( 負 債 の 部 )	百万円	百万円
流 動 負 債	23,185	19,686
支払手形及び買掛金	9,504	8,344
未払法人税等	1,037	1,235
賞与引当金	1,540	1,580
そ の 他	11,103	8,525
固 定 負 債	10,476	9,096
退職給付引当金	6,200	6,023
役員株式給付引当金	67	32
繰延税金負債	3,599	2,227
そ の 他	608	812
負 債 合 計	33,662	28,782
( 純 資 産 の 部 )		
株 主 資 本	69,768	64,483
資 本 金	4,560	4,560
資 本 剰 余 金	4,046	4,046
利 益 剰 余 金	68,203	62,926
自 己 株 式	△ 7,041	△ 7,049
評 価 ・ 換 算 差 額 等	11,983	8,746
その他有価証券評価差額金	11,983	8,746
純 資 産 合 計	81,751	73,230
負 債 及 び 純 資 産 合 計	115,414	102,012

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 単体財務諸表

## 損益計算書

科 目	当 期	前 期
	(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
	百万円	百万円
売 上 高	46,687	43,387
売 上 原 価	29,976	26,685
売 上 総 利 益	16,711	16,701
販売費及び一般管理費	11,019	11,274
営 業 利 益	5,692	5,426
営 業 外 収 益	4,770	3,505
受 取 利 息	142	120
受 取 配 当 金	2,958	1,948
受 取 賃 貸 料	399	369
受 取 技 術 料	1,092	933
そ の 他	177	134
営 業 外 費 用	307	238
支 払 利 息	12	14
為 替 差 損	115	57
そ の 他	180	166
経 常 利 益	10,154	8,694
特 別 利 益	97	1,342
特 別 損 失	85	73
税 引 前 当 期 純 利 益	10,166	9,963
法人税、住民税及び事業税	2,338	2,281
法 人 税 等 調 整 額	63	207
当 期 純 利 益	7,764	7,473

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書

当期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位：百万円)

	株 主 資 本				
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当 期 首 残 高	4,560	4,046	62,926	△ 7,049	64,483
当 期 変 動 額					
剰 余 金 の 配 当			△ 2,487		△ 2,487
当 期 純 利 益			7,764		7,764
自 己 株 式 の 取 得				△ 0	△ 0
自 己 株 式 の 処 分				8	8
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(純額)					—
当 期 変 動 額 合 計	—	—	5,276	8	5,285
当 期 末 残 高	4,560	4,046	68,203	△ 7,041	69,768

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当 期 首 残 高	8,746	8,746	73,230
当 期 変 動 額			
剰 余 金 の 配 当			△ 2,487
当 期 純 利 益			7,764
自 己 株 式 の 取 得			△ 0
自 己 株 式 の 処 分			8
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(純額)	3,236	3,236	3,236
当 期 変 動 額 合 計	3,236	3,236	8,521
当 期 末 残 高	11,983	11,983	81,751

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 事業所

(平成30年4月1日現在)

## 本社

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-15-1  
電話 03(3278)4333

## 総合技術研究所

### 西日本事業部

中京営業所  
関西営業所  
山陽営業所  
九州営業所



### 東日本事業部

北関東営業所  
関東営業所  
千葉営業所

### 製造部

平塚第一工場  
千葉工場  
関西工場  
福山第二工場  
九州第一工場

### 防錆・熱処理事業部

仙台工場  
新潟工場  
宇都宮工場  
前橋工場  
勝田工場  
古河工場  
平塚第二工場  
愛知工場  
伊丹工場  
福山工場  
九州第二工場

## 株 主 メ モ

- 事業年度** 4月1日から翌年3月31日まで
- 株主総会** (1) 定時 毎年6月  
(2) 臨時 必要あるときに開催
- 配当金** (1) 期末配当金受領株主確定日 3月31日  
(2) 中間配当金受領株主確定日 9月30日
- 公告方法** 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
\*公告掲載の当社ホームページアドレス  
<https://www.parker.co.jp/>

- 株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関** 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先** 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
電話 0120 (232) 711 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081  
新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
証券代行部

### 【ご注意】

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。  
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



**NIHON PARKERIZING CO.,LTD.**



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。